令和４年度　鳥取福祉会わかば台こども園　グランドデザイン

重点目標

遊びきる子ども

「やりたい」から「もっと」が生まれる遊びの実践

「地域に開かれた園づくり」

【健康なからだづくり】

自分から進んでチャレンジし意欲をもって取り組む子ども

＊生活リズムを整え生活に必要な習慣や態度を身につける
＊体を動かす楽しさを知り自ら進んで運動しようとする
＊食に関する興味や関心を深め食べる意欲や楽しさを味わう
＊きまりの必要性に気付き気持ちを調整する力を身につける

・食事、排泄、着脱、睡眠など生活リズムを整え、発達に応じて身辺自立を促します
・のびのび・にこにこキッズの運動指導員と連携を取り、発達に応じた運動遊びを取り入れます
・菜園活動を通じて、労働や調理などを経験し食に対する意欲関心を高め、食べる楽しさを伝えます
・生活安全指導、交通安全指導、災害安全指導等の機会を設けると共に、生活の中で必要な決まりやルールを身につけます

【身辺自立】

【運動遊び】

【食育】

【きまりを守る】

○家庭と連携を取りながら一人ひとりの発達に合わせた関わりをする中で、排泄・食事・着脱など生活に必要な習慣が身につき、意欲的にするようになった。しかし、挨拶や返事を自分からしようとしない姿がある。
○のびのびキッズ、にこにこキッズのカリキュラムに沿って中庭や廊下など運動遊びが楽しめる環境を整えたことで体を動かすことを楽しむ姿がある。必然的に様々な動きを経験し、諦めずに挑戦する気持ちが育っている。
○菜園活動を通じて食材を身近に感じ関心を持つことが出来た。苦手な食材がある、箸の持ち方や食事のマナーが身についていないところは家庭や栄養士等と連携を取りながら進める必要がある。
○写真や絵を掲示することで確認したり意識したりすることが出来、決まりを守って生活しようとする気持ちが育ってきている。

【豊かな人間性づくり】

さまざまな人と係る喜びを知り楽しく遊ぶ子ども

＊保育者や友だちへの信頼感を持ち、人とつながる楽しさを味わう
＊人の言葉や話をよく聞き、自分の経験したことや考えを話し、伝え合う喜びを味わう
＊友だちと活動を展開する楽しさや共通の目的が実現する喜びを味わう

・未満児クラスの少人数担当制、以上児クラスのグループ活動など、受容的、共感的、応答的なやりとりを大切にして、人とつながる楽しさを伝えます
・ごっこ遊びを通じて一緒にする楽しさや目的が実現する喜びを味わうと共に、言葉のやりとりを促し言葉で伝え合う経験を広げます
・お話会や一日一話の読み聞かせなど絵本や物語などに親しむことで、豊かな言葉や表現に出会う機会をつくります

【人とのつながり】

・少人数でのふれあい（３歳未満児）

・グループ活動・散歩（３歳以上児）

【ごっこあそび】

【おはなしに親しむ】

○少人数での応答的な関わりを継続していく中で、子どもたちの言葉にならないしぐさ、行動、指差し、表情に言葉を添えたり共感したりすることで安心して思いや言葉を伝えるようになってきた。
○ごっこ遊びなどを通して友だちの存在や良さに気付き、気の合う友だちと一緒に遊んだり、同じ目的を持って活動したりすることを楽しみ関わりを深めている。
○絵本のストーリーをクラスで共有し、遊びに展開していくなどお話に親しむ機会をつくったが、相手の思いやお話しを聞くことが苦手な姿がある。
○グループ活動や話し合いの機会を作る事で言葉のやり取りを促し、言葉で伝え合う経験を広げることが出来た。

【学びの基礎づくり】

さまざまな発見と感触を味わい自分らしさを表現する子ども

＊自然と触れ合う中で様々な事象に興味や関心を持つ
＊自ら興味関心を持って環境に関り遊びや生活に取り入れる
＊様々な素材の特徴や表現の仕方に気付き、感じたこと考えたことを表現する慶びを味わう

・四季折々の自然に触れ、５感を働かせながら様々な事象への興味関心を育みます
・探求あそびを通じて様々な素材に触れ、色.形.大きさなど物の性質や数量に関する感覚を豊かにします
・自分たちで遊びを創ることで、考えたり予想したり工夫したりするなど、多様な関わりを楽しみ思考力の芽生えを促します。
・心を動かす経験から、劇遊びや音楽、描画、工作など様々な表現を経験し楽しさを味わいます

【自然に触れる】

【探求あそび】

【考えたり工夫したりする】

【表現遊び】

○自然事象や自然物に触れたり、探究遊びを楽しんだりする中で、五感をフルに使い、身近な自然に興味・関心を持ち、遊びに取り入れる姿がある。
○子どもの発想や思いを受けとめて、遊びを展開していく中で材料や遊具を選択できるようにしたり繰り返し遊べるようにしたりするなど主体的な活動が確保されるよう環境を整えたことで、自分で選択する・工夫する・試す・考える・調べるなど遊びの経験を広げることが出来た。
○振り返りの時間や活動の足跡を残していき、遊びの続きが保障できるようにすることでさらに学びを深めていく必要がある。
○身近な環境と十分関わる中で美しいものや心を動かす出来事に触れる機会を持ち、イメージを豊かにしていく。